

活動フォト



▲「高齢者ソフト食」で特許取得された黒田留美子農学博士の講義と試食(宮崎市 潤和/ハビリテーション診療研究所)

▼岐阜県瑞浪超深地層研究所視察



地下500mまで降りる
主たて坑のエレベーター内で



▲県幹部を招へいしての勉強会「US会」の開催



▲京都府立林業大学視察

▼古事記に因んで恒例の古代衣装で(会派5人と)



▲延岡市出身「琴恵光(にとえこう)関」十両昇進の祝賀会



▲「県庁見学」三重野さん(桜ヶ丘)が観光を兼ねて母校の同窓会を宮崎で

プロフィール

昭和33年12月 延岡市追内町生まれ
日本大学法学部卒業、旭化成(株)入社
米沢 隆衆議院議員 秘書(延岡・宮崎で11年間)
平成15年 延岡市議会議員
平成19年 宮崎県議会議員(現在2期目)

主な現職

民主党宮崎県連 代表
宮崎県監査委員
宮崎県定時制・通信制高校教育振興会 副会長
延岡青朋高校教育振興会 会長
延岡野球連盟・延岡市ソフトボール協会 顧問

県政相談

ご意見・ご要望をお気軽にお聞かせ下さい。

TEL/FAX : 0982-26-1945 携帯 : 090-5021-7729
田口雄二 住所 : 〒882-0004 延岡市榎山町3-841-2
e-mail: gucci-yu@ma.wainet.ne.jp

【田口雄二ホームページ】 <http://www.yuji-taguchi.com>

田口雄二

検索

宮崎県議会議員
田口ゆうじ
議会だより

きあな

第24号 平成27年1月 編集/発行 田口ゆうじ

ごあいさつ

皆様におかれましては、ご家族お揃いで素晴らしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中に賜りましたご厚情に感謝申し上げますとともに、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年末は突然の解散総選挙、知事選挙が実施され、慌ただしい年末になりました。河野知事が再選され、宮崎県のトップリーダーに就任し、今後4年間は託されました。本年3月までには、東九州自動車道が大分・福岡までつながります。宮崎県、そして県北の大きな転換期を迎えます。知事をはじめ県執行部と県議会は地域間競争に負けない力強い宮崎を進めてまいります。

さて11月定例県議会で、一般質問を執り行いました。今回はその一部をご報告いたします。



11月定例県議会の一般質問

11月定例県議会で決まったこと

知事選があり、例年より少し早い11月13日から、12月2日までの20日間に渡って開催される。
37議案と5意見書を可決、請願6件を採択する。

◎補正予算

一般会計の補正額は40億2517万円、一般会計予算総額は5843億349万円となる。消費税の引き上げによる増収分を活用して新設する「地域医療介護総合確保基金」に8億8636万円の積立金、衆議院議員総選挙の執行に伴う経費、8億1240万円が主な補正予算です。

◎意見書(請願に基づく意見書を含む)

1. 勤務獣医師の人材確保対策等を求める意見書
2. 「農協改革」に関する意見書
3. 漁業用軽油にかかる軽油引取税の免税措置の堅持に関する意見書
4. 「山村振興法」の延長及び地域林業・地域振興の確立に向けた施策の拡充を求める意見書
5. 登記の事務、権限等の地方への移譲に反対する意見書



同じ会派の太田県議に描いていただきました



11月定例県議会

一般質問項目

- 知事の政治姿勢について
- ふるさと納税について
- 医療福祉行政について
- 県産材の活用について
- 東九州メディカルバレー構想について
- 東九州自動車道の活用について
- 教育行政について
- 警察行政について



質問者席からの質問

【質問】東九州メディカルバレー構想を進めていく中で、宮崎大学医学部「寄付講座」[※]に対する評価及び今後の取り組みについて伺いたい。

【商工観光労働部長】企業との共同による医療機器の研究開発やアジアからの医療関係者の研修事業などに取り組み、県立延岡病院内の県北拠点において、痛みを軽減する注射針の開発の協力など、活発に取り組まれている。さらに、医療機器開発で今年度宮崎大学に設置された産業動物教育センターの活用という新たな動きも出ており、本寄付講座は、構想推進の中核的存在として、大きく貢献していると認識している。

※「寄付講座」とは
企業や行政等からの寄付により運営される大学や研究機関の人材や施設を利用して研究開発を行うものです。
この宮崎大学医学部の講座は県と延岡市の寄付で運営されています。

【質問】東九州自動車道の開通で、本県のスポーツキャンプ地としての魅力が高まった。県として誘致の取り組みについて伺いたい。

【商工観光労働部長】特に県北地区がスポーツキャンプのアクセス環境が向上する。キャンプの「全県化」、「多様化」、「通年化」を目指す「スポーツランドみやざき」の推進に弾みがつく。このため本年度初めて、四国地方でフェリー会社、旅行会社、大学等に誘致活動を行った。また福岡や大阪地区で、大学生を対象に誘致セミナーを開催した。今後とも市町村や関係団体と連携してPRし、更なる誘致促進を図って参りたい。

夕刊デイリー新聞(2014年11月20日)

メデイカルバレー構想 県議会 知事「順調に推進」

本県と天分県が連携して進める東九州メディカルバレー構想について、河野知事は19日、順調に推進できていると認識を示した。医療機器産業への参入が進んだことや、画期的な医療機器の開発が進行中などの成果を評価した。県議会定例会一般質問で、田口雄二議員(県民連合宮崎、延岡市)に答えた。

同構想で県北部と天分県南部の東九州地域は、旭化成クレメディカルやメディキット社など世界に誇る医療機器メーカーが集積する特長を生かして、産官学連携で地域活性化に取り組む。目標として西県の平成26年度医療機器生産額を、21年度比15%増の1584億円に設定している。平成24年度には国の「地域活性化総合特区」指定を受けた。医療機器産業研究会の会員企業が設立当初の2倍となる65社に増加。大型の研究開発資金が獲得できたことで、九州保健福祉大学などが進める自動たんだろシステムの開発などが進んでいる。22年10月から始まった同構想の評価を問われた知事は「新規参入が進み

日本の優れた医療技術を東九州からアジアに展開させる取り組みも具体的に進行中である」と述べた。

また、田口議員はメディカルタウン構想を掲げる延岡市との連携を質問。茂雄二商工観光労働部長は「中心的な役割を果たしていただいている。延岡市との連携は年々強化されている。今後より一層強化し、構想の取り組みを加速させたい」と述べた。

夕刊デイリー新聞(2014年11月20日)

東九州道増設の働き掛けを 川南PA 田口氏、トイレ数で指摘

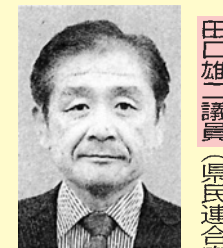
県議会11月定例会は19日、一般質問を続開。田口雄二議員(県民連合宮崎、延岡市)は、東九州自動車道・川南パーキングエリア(PA)のトイレについて、設置者の西日本高速道路に早期の増設を働き掛けるよう要望した。

田口議員は「上下線兼用の川南PAのトイレ数は男子用6(大3、小3)と女子用6、他目的の計14基しかない。女子トイレどころか男子トイレまで並んでしまう。宮崎西ICと清武IC間の上下線にある宮崎PAには各1基ずつの計2基あるのに、川南がなぜこんなに少ないのか」と指摘。その上で、宮崎一大分間の今年度中の全線開通で観光客増が期待されるが、トイレを我慢しながら安全運転はできない。観光客に快適な旅を楽しんでいただくためにも、増設を強く要望してほしい」と訴えた。

大田原宣治県土整備部長は「西日本高速道路へはトイレの増設を含めた川南PAの施設充実をこれまででもお願いしてきた。改めて問い合わせたところ、増設はゴールデンウィークや盆、年末年始などに設置の臨時トイレの利用状況などを踏まえて今後検討したいとのことだった。引き続き早期の増設を要望していきたい」と答えた。

宮崎日日新聞(2014年11月20日)

県議会 一般質問 2日目



田口雄二議員(県民連合宮崎、延岡市)は、延岡市は、医学生が研修する病院を選ばず医師臨床研修マッチングについて「2004年度以降、県立延岡病院は1人だけしか内定していない深刻な状況だ」と指摘。同病院に地域総合医療センターを設立する考えはないかと尋ねた。

佐藤健司福祉保健部長は、「サテライトセンターの運営には指導医の確保が必要。まずは県立日南病院のサテライトセンターで実績を挙げることが重要」と説明。その上で、県立延岡病院への設置は「中長期的な観点で延岡大と相談していく」と応じた。木造園芸ハウスの取り組み状況について質問。徳永三夫環境部長は「延岡市は、延岡市清武町木原に木造園芸ハウスを設置したことを報告。今後、宮崎大と共同でハウスの環境調査を実施し、木造園芸ハウスの実用化について検討を進めたい」と話した。

夕刊デイリー新聞(2014年11月20日)

県議会 一般質問



田口雄二議員

地域総合医療センターの開設がポイント

県議会11月定例会は19日、一般質問項目があり、県北関係は田口雄二議員(県民連合宮崎、延岡市)が登壇した。主な質疑応答は次の通り。

【田口雄二議員】県立延岡病院は地域総合医療センターの開設がポイント。医療の確保がポイント。まずは県立日南病院でしっかりと実績を上げるのが重要。その上で、長期的な観点から宮崎大学医学部などと相談していこうとする。【徳永三夫環境部長】県立延岡病院は地域総合医療センターの開設がポイント。医療の確保がポイント。まずは県立日南病院でしっかりと実績を上げるのが重要。その上で、長期的な観点から宮崎大学医学部などと相談していこうとする。【島原俊英教育委員長】県立延岡病院は地域総合医療センターの開設がポイント。医療の確保がポイント。まずは県立日南病院でしっかりと実績を上げるのが重要。その上で、長期的な観点から宮崎大学医学部などと相談していこうとする。